

令和4年度 3歳児 うめ組「発表会」

(実践前修正箇所を斜体、実践後修正箇所を囲み文字にて示す。)

1. 期間

1月～2月

2. 設定の理由

子どもたちは、2学期以降、ストライダーや三輪車で友達と連なって走ったり、友達と一緒にごちそうを作ったり鬼ごっこをしたり、レストランごっこ、キャンプごっこ、ヒーローごっこ、ショーごっこなどいろいろなごっこ遊びを友達と一緒にしたりして、友達と一緒に遊ぶ楽しさを味わっている。その中で、「一緒に遊ぼう」と友達を誘ったり、「ご飯作ろう」としたいことを言ったりするなど、友達に自分の気持ちや考えを伝えようとする姿も見られている。また、一緒に遊ぶ中で、友達のしていることや考えていることを見たり聞いたりし、友達の面白いところ、素敵など、困ったところなどを感じてきている。

2学期の後半には、廃材やテープ類、紙類などを使って、靴や楽器や武器などを作ることを楽しみ、作ったものを遊びに使うことも喜んでいて。

運動会では、うめ組みんなでリズム表現をする中で、なりたいものになりきって遊ぶ楽しさを感じたり、お客さん(保護者)に見てもらうことを喜んだりしていた。幼稚園生活にも慣れ、保育参観日がわかるようになり、保育参観日にお家の人に見てもらえることを楽しみにしている。

そこで、発表会では、クラスみんなでごっこ遊びをすることで、したいことを決めたり、こんな風にしたいと考えたりして、したいことができたことを喜んだり、自分の考えに自信をもったり、なりたいものになりながら友達と一緒に遊ぶ楽しさを味わったりできるようにしたい。

子どもたちにとってわかりやすいお話や心情を取り上げてごっこ遊びをすることで、なりたい登場物を思い浮かべたり、気持ちを感じたりして、なりきって遊ぶことを楽しめる。また、これまで楽しんできた遊びを取り入れることで、こんな風にしたいと考えられるようにしていきたい。お話の中で必要な道具を考えて作る経験を通して、描きたいものや作りたいものを思い浮かべて描いたり作ったりすることもできる。

また、お話に基づいてみんなで遊ぶ中で、お話に出てくるものに興味をもち、お話を聞いたり絵本や図鑑、写真で見たりして、登場物の特徴や特性に気付き、面白いと思えるようにしていきたい。それぞれの子どもが考えたことやしたいことを聞いたり考えを引き出したりして取り入れ、したいことや考えたことを言葉や行動で伝えられるようにしていきたい。歌ったりなりきって動いたりする中で、リズムを感じたり、身体を動かすことを楽しむこともできる。また、それぞれの考えたことや表現を見たり聞いたりすることで、いろいろな友達の個性も感じてほしい。

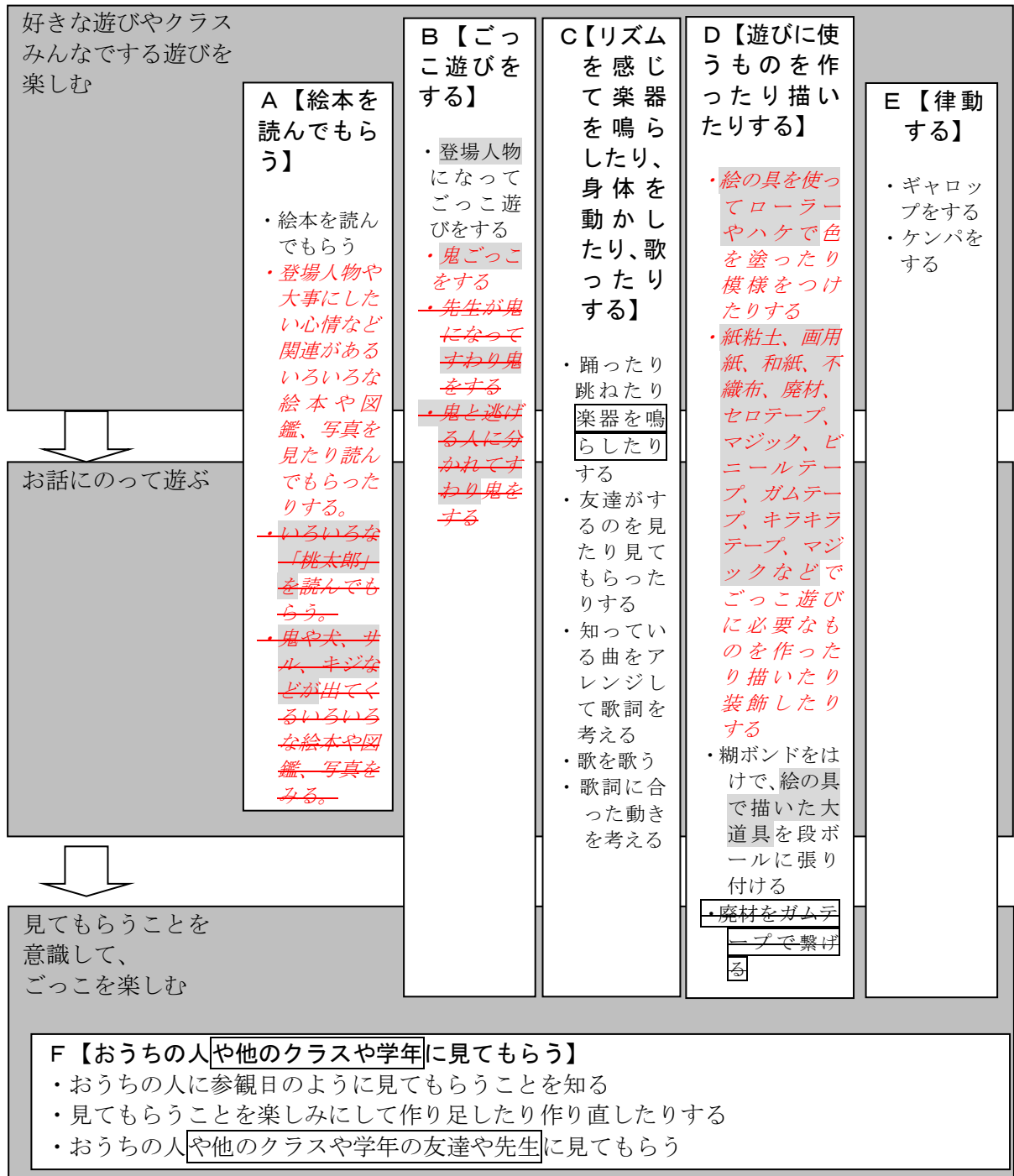
そして、考えたことや頑張ったことをお家の人に見てもらったり聞いてもらったり褒めてもらったりして満足できるようにしたい。

3. ねらい

- ① なりたい登場する生き物をと決めて思ってなったり、この動きをしたいと思っ
て考えたことをやってみたり、遊びの中でこんな風にしたいと思っ
たことをしようとしたりする。 自ら決める・選ぶ
- ② 自分でしたいと思っただけできたり、自分の考えた動きや言葉を友達や
先生、おうちの人、他のクラスや学年の友達や先生に見てもらったり聞い
てもらったり褒めてもらったりして満足する。したり、自分が考えたこと
や頑張っていることに自信をもったりする 自分に満足する
自分を客観的に把握する
- ③ 自分の思い通りにならずに困ったり、嫌な気持ちになったりした時など
に、先生や友達に話を聞いてもらったり、思いを代弁してもらったり、ど
うすればよいか一緒に考えたりして、気持ちを落ち着かせて気持ちを発表
会に向はようとする。 気持ちをコントロールする
- ④ 先生やいろいろな友達と身体を動かしたり、同じことをしたり、顔を見合
わせて話し合たり、一緒に役になりきって遊んだり歌ったりして、一緒
に遊ぶ嬉しさを感じる。 他者という喜びを感じる

- ⑤ いろいろな友達の役になっている考えや動き、言葉、表情を見聞きしたり、~~していることを面白いと思ったり~~、真似をしてみたりして、友達の素敵なところやすごいところ、面白いところを知る。 他者のことを知る
- ⑥ 自分のしていることやしたいこと、遊びが面白くなるといった考え、嫌だと思ったことを、先生に思いを汲み取ってもらって代弁してもらって領いたり、言葉を引き出してもらったり、一緒に言ったり、見守ってもらって自分で言ったりして、言葉や行動で伝えようとする。 自分のことを伝える
- ⑦ 友達や物にぶつかって驚いたり痛い思いをしたり、友達が痛い思いをしているのを見聞きしたりして、どうやったら危なくないか考えようとする。 身を守る
- ⑧ ケンパやギャロップをしたり、登場物になって動いたり、~~すわり~~鬼ごっこで追いかけたり追いかけられたりすると身体が温まることや、して、身体を動かしたり、バランスを取ったり、膝をしっかり曲げてバネを使ったりするなど、いろいろに身体を動かす心地よさを感じる 身体を操作する
- ⑨ 紙粘土やはさみ、ガムテープ、セロテープなどを使いながら、使い方を考えたり試したりする 身体を操作する
- ⑩ お話絵本に出てくる生き物に興味をもち、先生に教えてもらったり、絵本や図鑑、写真を見たりして、特徴や特性、得意なことなどを知り、かわいい、怖いと思ったり、面白いと思う。 生き物・いのちをみつめる
- ⑪ 紙粘土、画用紙、和紙、不織布、セロテープ、廃材、絵の具、ローラーなどを使って遊んだり作ったりする中で、様々な形ができる、色が混ざる、模様がするなど、そのものの性質を感じて楽しんだり面白いと思ったり使い方を考えたりする。 事物・現象をとらえる
- ⑫ 遊びに必要な物を思い浮かべ、紙粘土、画用紙、和紙、不織布、廃材、セロテープ、ガムテープ、マジックなど、いろいろな材料を使って色や形を考えて工夫して作ったり、ローラーを転がして出来る色の混ざり合いに面白さを感じて塗ったりすることを楽しむ。 造形に表す
- ⑬ 歌のリズムを感じて歌ったり楽器を鳴らしたり、歌のイメージにあった動きをしたり、ピアノの音や曲を聴いてリズムを感じながら身体を動かしたりすることを楽しむ。 音楽に表す
- ⑭ いろいろな絵本を見て、登場人物の気持ちを感じたり、次はどうなるのだろうかと展開を楽しみにしたりする。 文芸に表す
- ⑮ なりたい登場人物の動きや表情、話し方、場面を思い浮かべたり、気持ちを感じたりしながら動き、なりきって遊ぶんだり、歌のイメージにあった動きをしたりすることを楽しむ。 身体の動きに表す
- ⑯ 自分のしたい登場人物の姿や場面を思い浮かべてイメージして、必要だと思う物や装飾を考えたり作ったりする。 演出に表す
- ⑰ ガムテープカッターでガムテープを切る時に、テープを斜め下に引っ張ると切れることを知ったり、マスキングテープを指で切る時に、爪でテープの端を押さえて切ることを知ったりして使おうしたり、ローラーの使い方や色の付き方が違うことに気付き、ローラーを転がして前後に大きく動かしたり、側面を使ったりして試す。 道具をあやつる
- ⑱ ペンのインクやのりが乾かないように、使い終わったらキャップやふたを閉めようとする。また、ペンのキャップをなくさずにすぐ閉められるように、外した後はペンのキャップを反対側につけようとする。 資源の活用をみつめる
- ⑲ 遊びに必要な物をどこに置いたらよいか考えて運んだり、並べたり、置いたり、片付けたりする。 住空間を整える

4. 展開



A【絵本を読んでもらう】		
予想される 子どもの活動	ねらい	*環境の構成 ◎教師の援助
- 絵本を読んでもらう - 登場人物や大事にしたい心情など関連があるいろいろな絵本や図鑑、	○お話絵本に出てくる生き物に興味をもち、先生に教えてもらったり、絵本や図鑑、写真を見たりして、特徴や特性、得意なことなどを知り、かわいい、怖い、面白いと思う◎	* 読み見たいと思った時にいつでも 読むことが出来る見られるように、登場物や大事にしたい心情など関連があるいろいろな絵本や図鑑を目立つ場所に置いておく。 * 絵本に出てくる登場人物の生態に興味をもてるように、それぞれの特徴が

写真を見たり 読んでもらっ たりする。 ・いろいろな「桃太郎」を読んでもらう。 ・鬼や犬、サル、キジなどが出てくるいろいろな絵本や図鑑、写真をみる。	○絵本を見て登場人物の気持ちを感じる⑭ ○鬼退治に行く仲間がどんどん増えていく嬉しさを感じる⑭ ○鬼と戦う怖さやドキドキを感じる⑭ ○怖かったが勇気を振り絞って仲間と力を合わせて鬼を倒せたところを素敵だと感じる⑥ ○物語が分かって楽しんだり、物語に親しみをもったりする⑭⑭	載っている絵本や図鑑、写真を目立つ場所に置いておく。 ◎それぞれの特徴や特性、得意なことなどに気付き、かわいい、怖い、面白いと思えるその生態に興味を抱けるように、子どもと一緒に絵本や図鑑、写真を見たり、<u>実際に見られるものは一緒に見たり、</u>子どもの驚きに共感して一緒に驚いたり言葉にしたりする。 ◎登場人物の気持ちを感じられるように、心情が強く表れている部分は気持ちを込めて強調して読んだり、ごっこ遊びをしながらその時の登場人物の気持ちを言葉にしたり登場人物の気持ちを一緒に考えたりする ◎鬼退治に行く仲間がどんどん増えていく嬉しさを感じられるように、明るい声色で読んだり、動きや表情が分かるように絵をしつかり見られる間をつくったりする。 ◎鬼と戦う怖さやドキドキを感じられるように、鬼のセリフを少し怖い声色で読んだり、じっくり絵を見せたり、間をとってからページをめくったりする。 ◎自分の考えを伝える喜びを感じられるようにどうしたらよいか自分の考えを言葉にしている子どもの思いを受け止めたり、その考えが伝わるように言葉を足してみんなに知らせたりする。 ◎怖かったが勇気を振り絞って仲間と力を合わせて鬼を倒せた喜びを感じられるように、明るい声色で読んだり、最後のページをじっくり見せたり微笑んだりする。 ◎物語が分かって楽しめるように、折りをみて繰り返し何度も絵本を読んだり、同じ話の違う絵本、解釈が異なる絵本を読んだりするむ。
---	---	---

B【ごっこ遊びをする】		
予想される 子どもの活動	ねらい	＊環境の構成 ◎教師の援助
・登場人物になってごっこ遊びをする ・鬼ごっこをする ・先生が鬼になってすわり鬼をする	○登場人物に、なりたいたいと思ってなろうとしたり、こんな風に動こうと考えてしたりする① ○桃太郎や鬼、犬、サルキジなどなりながらきびだんごを食べる	◎なりたい役を決めてなろうと思えるように、それぞれの役の楽しさを伝えたり、役の写真を掲示したり、どの役をするか尋ねたりする。 ◎役になってこんな風に動こうと思えるように、それぞれの考えた動きを

・鬼と逃げる人に
分かれてすわ
り鬼をする

たり、歌ったり踊ったり、鬼ご
っこをしたりして楽しむ⑫

- 自分でしたいと思ったことが
できたり、自分の考えた動き
や言葉を友達や教師に見ても
らったり聞いてもらったり褒
めてもらったりして満足する
したり、自分が考えたことや
頑張っていることに自信をも
ったりする②

- 自分の思い通りにならずに困
ったり、嫌な気持ちになっ
たりした時友達としたいことが
同じで取り合いになったとき
などに、先生に話を聞いても
らったり、思いを代弁しても
らったり、どうすればいいか
一緒に考えたりして、気持ち
を落ち着かせ、気持ちを発表
会に向けようとする③

- 先生やいろいろな友達と同じ
ことをしたり、顔を見合わせ
たり、一緒に役になりきって
遊んだり歌ったりして、一緒
に遊ぶ楽しさを感じる。タラ
スのみんなでままごとをし
たりすわり鬼をしたり、歌を歌
ったりすることを楽しむ④

- 友達 ~~の考えやが~~している話
~~し~~方や動き方を見たり聞い
たりして、友達の素敵など
ころやすごいところ、面白
いところを知る⑤

- 自分のしていることやしたい
こと、遊びが面白くなると
思った考え、嫌だと思っ
たことを、先生に思いを汲み取
ってもらって代弁してもら
ったり、言葉を引き出して
もらったり、一緒に言っ
たり、見守ってもらって
自分で言ったりして、言葉
や行動で伝えようとする。⑥

- 友達や物にぶつかって驚い
たり痛い思いをしたり、友
達が痛い思いをしているの
を見聞

褒めたり、友達の考えていることを
知らせたりする。

- ◎したいことができたことや、見ても
らったり聞いてもらったり褒めて
もらったりする嬉しさを感じられる
ように、十分に遊ぶ時間を確保したり、
友達同士で見合う機会を作ったり、
素敵などころを見つけて伝えたりす
る。

- ◎考えたことや頑張っていることに自
信をもってできるように、それぞれ
の子どもの考えたこと、頑張ってい
ることを具体的に褒める

- ◎自分の思い通りにならずに困った
り、嫌な気持ちになったりした時取
り合いになった時などに、気持ちを
落ち着かせられるように、スキン
シップをとりながら話を聞いたり、思
いを代弁したり、どうすればいいか
一緒に考えたり選択肢を提案したり
する。

- ◎先生やいろいろな友達と一緒に遊ぶ
楽しさを感じられるタラスのみんな
で遊ぶことを楽しいと思えるように、
みんなで同じ動きを揃えてする場面
や、みんなで一緒に遊ぶ一緒にす
わり鬼をする場面、一緒に声を揃えて
歌う場面を作り、一緒に遊んで嬉し
いと感じている気持ちを言葉にして
共感する。

- ◎友達の素敵などころやすごいとこ
ろ、面白いところを知ることが出
るように、友達の動きに注目させ
たり、教師が気付いた素敵など
ころを言葉にしたりする。

- ◎自分の思いを言葉や行動で伝えよ
うできるように、思いを代弁したり、
主語などの言葉のはじめを代弁し
てきっかけを作ったり、わかりに
くいところを言い換えて尋ねたり、一
緒に言ったり、見守ったりする。

- ◎危なくない方法を考えられるよ
うに、驚いたり痛い思いをしたり
している友達を知らせて、危ないこ
とを

	きしたりして、どうやったら危なくないか考えようとする。⑦ ○登場人物になって動いたり、友達をタッチしようと友達をねらって身体を動かしたり逃げたり追いかけてたりして身体を動かすと温まることや、いろいろに身体を動かす心地よさを感じる⑧ ○鬼から離れて逃げたり、広い場所を見つけて向かったりし、どうすれば捕まらないか考えて遊ぶ。⑧ ○相手の動きを見ながら、走るスピードや方向を変えて、タッチされないように逃げたり、タッチするために追いかけてたりする⑧ ○なりたい登場人物の動きや表情、話し方、場面を思い浮かべたり、気持ちを感じたりしどんな動きをしているのかをいろいろな絵本や図鑑や写真、動画をみたり先生と一緒に考えたりしながら、なりきって遊ぶことを楽しむ⑫⑮ ○何をしたらよいか困ったり、自分のすることを忘れたりしている友達に声をかけたり、どうしたいのか尋ねたり、手伝ったり、教えたりする。	伝えたり、危なくない方法を一緒に考えたりする。 ◎身体を動かすと温まることや、その心地よさを感じられるように、いろいろな動きの登場物になって遊んだり、走った後に温かくなっていることを伝えたり、走ってみた気持ちを尋ねたり感じている気持ちを言葉にしたりする。 ◎相手の動きを見て、距離を保ったり詰めたりしているよさを感じられるように、始まる前に鬼から離れて待っていることや鬼のいない広い場を見つけて逃げ込んでいる姿を見つけて、他児にも知らせていく。 ◎色々な動きをしながら十分体を使って遊べるように、走るスピードを速くして緩めたり、急に方向を変えたりしている動きを具体的に言葉で意識させる。 *登場人物や役割、場面イメージをもって繰り返し遊べるなっている気持ちが味わいやすいように、なりきって遊ぶのに必要な道具を置いておいたり、ごっこ遊びに必要なものを作る場を用意したりし、好きな遊びでもに使えるように準備をしておく。 ◎登場人物の動きや話し方を考えながら、生き物の成長を知り、その特徴となる動きに興味をもってなりきって遊べるように、いろいろな動きを一緒になりきって動いたり話したり、友達の動きや話し方を見せたり、いろいろな場面でどんな動きをしようかと尋ねて想像を膨らまさせたり、友達のしたいと思っている考えを知らせたりする。 ◎登場人物の気持ちや場面を思い浮かべながら表現できるように、情景や状況を伝えたり、気持ちを一緒に考えたり、場面に合わせた音や音楽を鳴らしたりする。 ◎困っている友達がいたら、手伝ったり教えたりするよう、教師も一緒にどうしたいのか尋ねたり、友達のことを考えている素敵さを褒めたりする。
--	---	---

予想される 子どもの活動	ねらい	*環境の構成 ◎教師の援助
・ 踊ったり跳ねたり 楽器を鳴らしたり する ・ 友達がするのを見たり見てもらったりする ・ 知っている曲をアレンジして歌詞を考える ・ 歌を歌う ・ 歌詞に合った動きを考える	○自分でしたいと思ったことができたり、自分の考えた こと動きや言葉 を友達や教師に見てもらったり聞いてもらったり褒めてもらったりして満足する② ○友達がしている動きを見て、友達の素敵なおところやすごいところ、面白いところを知る⑤ ○自分が考えたことを先生や友達に言葉で伝えたり、やってみせたりする⑥ ○歌のリズムを感じて歌ったり楽器を鳴らしたり、ピアノの音や曲を聴いてリズムを感じながら身体を動かしたりすることを楽しむ⑬ ○踊ったりすることを楽しむ⑭ ○歌のリズムを感じて歌を歌うことを楽しむ⑭ ○歌のイメージに合った動きを考えてすることを楽しむ⑭⑮	◎したいことができた嬉しさや見てもらったり聞いてもらったり褒めてもらったりする嬉しさを感じられるように、したいことができたことを一緒に喜んだり、考えの素敵なところを褒めたりする。 ◎友達の動きの素敵さや面白さを感じられるように、教師が気付いた素敵なおところや面白いところを言葉にして注目させる。 ◎自分で考えたことを 伝える よさを感じられるように、伝える機会をもったり、考えたことの素敵さを褒めたり、考えを取り入れたり する。 ◎歌のリズムを感じられるように、リズムに合わせて手拍子したり、リズムをはっきりつけて伴奏したり をする。 ◎リズムを感じながら身体を動かすことを楽しめるように、動きに合わせたリズムで演奏したりリズムの取りやすい曲を流したり する。 ○踊ったりすることを楽しめるように、それぞれの良さを言葉にして褒めたり、掛け声をかけて盛り上げたり、楽しさに共感する言葉をかけたりする。 ◎歌のイメージに合った動きをすることを楽しめるように、イメージに合った動きをしていることを褒めたり、どんな動きがいいか一緒に考えたりする。

D 【遊びに使うものを作ったり描いたりする】		
予想される 子どもの活動	ねらい	*環境の構成 ◎教師の援助
・ 絵の具を使ってローラーやハケで色を塗ったり模様をつけたり する ・ 紙粘土、画用紙、和紙、不織布、廃材、セロテープ、マジック、ビニールテープやキラキラテープ、マジック などでごっこ遊びに必要	○紙粘土やはさみ、ガムテープ、セロテープ などを使いながら、使い方を考えたり試したりする⑨ ○紙粘土、画用紙、和紙、不織布、セロテープ、廃材、絵の具、ローラー などを使って遊んだり作ったりする中で、様々な形	◎紙粘土やはさみ、ガムテープ、セロテープなどの使い方を考えたり試したりできるように、テープカッターでテープを切る時にテープを斜め下に引張ると切れることを知って使えるように、使おうとしているところを見守り、友達や教師の使い方を見せたり、コツを言葉にしたり、手を添えて一緒にしたりす斜め下に引張ることを手を取って伝える。 ◎使う素材や道具の性質を感じたり、使い方を考えたりできるように、十分試す時間をとったり、感じている楽しさや面白さを言葉にしたり、一緒に使い

なものを作ったり描いたり装飾したりする - 糊ボンドをはけで、絵の具で描いた大道具を段ボールに張り付ける - 廃材をガムテープで繋げる	ができる、色が混ざる、模様ができるなど、そのものの性質を感じて楽しんだり面白いと思ったり使い方を考えたりする⑪ ○ごっこ 桃太郎の生活や鬼退治などの遊びに必要なものを思い浮かべ、紙粘土や画用紙、和紙、不織布、廃材、セロテープ、ガムテープ、マジックなどを使って 色や形を考えて 作ることを楽しむ⑩⑫ ○色の混ざり合いに面白さを感じる④ ○デブカッターでガムテープを切る時に、テープを斜め下に引っ張ると切れることを知って使おうとする⑬ ○遊びに必要な物をどこに置いたらよいか考えて運んだり、並べたり、置いたり、片付けたりする⑭⑮ ○自分のしたい 登場人物の姿や場面を思い浮かべて イメージして、必要だと思う物や装飾を考えたり作ったり 置いてみたりする⑭⑯ ○ペンのインクやのりが乾かないように、使い終わったらキャップやふたを開めようとする。また、ペンのキャップをなくさずにすぐ閉められるように、外した後はペンのキャップを反対側につけようとする。⑯	ながら使い方を見せたり言葉にしたりする。 *作りたいものに合わせて使いたい素材や色を選んで使えるように、作りたいものが作れそうな素材を複数用意したり、使い慣れた素材を用意しておいたりする。 *使いたい時にガムテープやペン、ポリ袋を使って作ったり、作り足したりできるように、必要なものを様々な色ですぐに出せるように用意しておく。 ◎遊びに必要なものを思い浮かべて、色や形組み合わせを考えて 作りたいものを作る楽しさを感じられるように、いろいろな色があることを知らせたり、どんな色や形にしたいか、どんな飾りをつけたいか尋ねたり、友達の作っているものを見せたりする。 ◎色の混ざり合いに面白さを感じたり塗ることを楽しんだりできるように、いろいろな色の絵の具とローラーを準備しておく。 ◎遊びに必要なものや使ったものをきれいに片付けられるように、どこに片付けようか一緒に考えたり、きれいに整える気持ち良さを伝えたりする。 ◎自分のしたい 登場人物の姿や場面をイメージして必要なものを考えたり、作ったりしようと思えるように、何があつたらより 登場人物らしく見えるか尋ねたり、よりらしくなるように作っている姿を知らせたりする。 ◎ペンのインクやのりが乾かないようにしようと思えるように、ペンのキャップを反対側につけると無くさなくてよいことを知らせたり、すぐに蓋をしめている姿を褒めたりする。
---	--	--

E【律動をする】		
予想される 子どもの活動	ねらい	*環境の構成 ◎教師の援助
- ギャロップをする - ケンパをする 高くジャンプする	○友達や物にぶつかって驚いたり痛い思いをしたり、友達が痛い思いをしているのを見聞きしたりして、して、どうやった	◎どうやったら危なくないか考えられるように、ぶつかってしまいそうな状況であることを言葉にしたり、ぶつかったあとにどうすればいいか一緒に

る ・遠くにジャンプ する	ら危なくないか考えようとする⑦ ○ ピアノの音に合わせて ギャロップ、ケンパをして、 身体を動かすと温まることや 身体を動かす心地よさを感じたり、 バランスを取ったり、膝をしっかりと曲げてバネを使ったりする ⑧	考えたりする。 ◎身体を動かす心地よさ や暖かさ を感じられるように、子どもの動きに合わせたテンポ やでギャロップをしやす い リズムの曲を弾いたり、楽しさ や温まったことを に共感したりする。 ◎ バランスを取ったり、膝をしっかりと曲げてバネを使ったりするなど動きを考えたり試したりいろいろに体を動かそうと するように、動きを具体的に言葉にしたり、教師がやってみせたりする。
--	---	---

F【 <u>おうち</u> や他のクラスや学年の人に見てもらう】		
予想される 子どもの活動	ねらい	*環境の構成 ◎教師の援助
・おうちの人に参観日のように見てもらうことを知る ・見てもらうことを楽しみにして作り足したり作り直したりする ・おうちの人や他のクラスや学年の友達や先生に見てもらう	◎お家の人にみてもらうことを知り、発表会当日を楽しみに思う① ◎お家の人 や他のクラスや学年の友達や先生 に見てもらったり、褒めてもらったりすることを嬉しく思う②	◎お家の人にみてもらうことを知り、発表会当日を楽しみに思えるように、お家の人が見に来てくれることを知らせたり、どんなところを見てほしいか尋ねたり、お家の人が見たらびっくりするであろうということを伝えたりする。 ◎おうちの人に見てもらったり褒めてもらったりして嬉しいと思えるように、保護者に子どもが楽しんでいたことや頑張っていたことについて具体的に褒められるように動きや表情などよく見て褒めてあげてほしいことを伝えておく。 ◎ 他のクラスや学年の友達や先生に見てもらうことを嬉しいと思えるように、お客さんの反応を見せたり見ていてどうだったかお客さんに尋ねたりする ◎見てもらったり褒めてもらって嬉しい気持ちを感じられるように、見てもらえて良かったことを伝えたり、褒めてもらえて嬉しい気持ちに共感したりする。